

公共下水道の効果 (雨水)

平成13年に整備を開始する前は、赤塚川流域全体に浸水被害が発生していましたが、赤塚川雨水幹線の整備が進むと、整備済区間の浸水は発生しなくなりました。また、上流域においても床上浸水被害が道路冠水に変わるなど改善されています。

【事業による効果】

平成2年9月30日(時間最大雨量:54mm)

平成16年6月30日(時間最大雨量:84mm)

